

第15回山東島津放射技術講座 <医用電子工学> 出張報告書

出張先：中国山東省済南市 山東医学高等専科学校、山東省腫瘍治療研究院

出張期間：2014/10/11～2014/10/19

林 茂樹

山東医学高等専科学校で2年生を対象に医用電子工学の講義(4日間)と山東省腫瘍治療研究院の見学を行いましたので報告します。

山東医学高等専科学校は学生数約7,000名で、放射線関連では1学年約400名で5つの技術、医士、超音波、放射線治療、医用電子機器学科に分かれている。そのうち医用電子機器学科を中心に約150名の学生に講義を行った。日本へ留学経験を持つ吴通訳士がプレゼン用スライドを中文に翻訳し講義資料として学生に配布されていた。講義は電子の基礎から最新の電子機器(超伝導や液晶など)に関する概要である。既に習っている内容もあったが、最先端項目を中心に難しい内容があったと後で学生に聞いた。しかし、学生は非常に熱心で、新しい技術内容も真剣に聞いていた。計算問題もやらせてみたが、理解度が早く優秀な学生も多いように思われる。また、学生に知っている内容か否かを聞くと直ぐに反応があり、講義しやすい雰囲気であった。

山東省腫瘍治療研究院は山東医学高等専科学校から車で40分のところにある中国でも1,2の規模をもつ癌治療専門の日本の癌研のような病院である。放射物理室主任の尹勇教授の案内でリニアック(9台)やIMRT「トモセラピー(9月納入)」治療装置やPET用サイクロトロンの見学をした。敷地も広く脳や口腔等癌部位によって専門の病棟があり研究と治療の大規模な研究所でもある。

最後に、お世話になりました王副校長、李萌教授ほか山東医学高等専科学校関係者、および尹勇教授ほか山東省腫瘍治療研究院の皆様にご心から感謝とお礼を申し上げます。

